

平成26年第2回(3月)
西原町議会定例会
一般質問通告

質 問 日	質 問 議 員		
3月18日(火) 5人	①与那嶺 義 雄	②宮 里 芳 男	③呉 屋 悟
	④大 城 清 松	⑤宮 城 秀 功	
3月19日(水) 3人	⑥上 里 善 清	⑦仲 松 勤	⑧喜 納 昌 盛
3月20日(木) 5人	⑨有 田 力	⑩大 城 好 弘	⑪大 城 誠 一
	⑫仲宗根 健 仁	⑬伊 礼 一 美	
3月24日(月) 4人	⑭伊 波 時 男	⑮前 里 光 信	⑯長 浜 ひろみ
	⑰城 間 義 光		

	<p>(1) この状況を行政はどう認識しているのか。なぜ、組織が存続できるような支援ができなかったのか。</p> <p>(2) 今やNPOは行政改革や協働のまちづくりを推進するうえで最重要なツール・仕組みだ。私は、行政組織の徹底的なスリム化と住民参加・協働を実現するためには、多種多様なNPOによる可能な限りの行政事務の委託・分担化が最も有効だと考える。その意味では、8年の実績のある「NPO法人さわふじ」を支え育てきれなかった今回の事態は、今後の協働のまちづくりが問われる問題でもある。行政のさらなる支援で「NPOさわふじ」の存続と事業展開を推進すべきではないか。</p>	町長
<p>3 町商工会への町有財産の貸与について</p>	<p>町商工会の入居する施設に関しては、ここ数年議会の予算審議のたびに議論されてきた。問題を整理すれば、①旧雇用促進事業団から買い取り町有財産となった以降も、なぜ無償でもなく、土地の借地代を含め毎年 250 万円程度を支払って管理させるのか。②施設は建設の当初から勤労者の福利厚生施設として設置された公の施設、すなわち行政財産なのに、それを否定するかのように普通財産として貸し付けているのか、である。</p> <p>(1) 実態に即し行政財産として自治法に基づき条例できちんと位置づけるべきではないか。</p> <p>(2) 行政財産となれば、町商工会が使用するには指定管理者となる以外に方法がないのではないか。</p>	町長
<p>4 沖縄都市モノレール浦西駅の開設に伴う周辺区域の都市計画について</p>	<p>同区域の都市計画に関しては、昨年9月27日に県の関係部署と西原町からその概要について住民説明会が開催された。その際、住民が懸念した事は沖縄自動車道へ連結するインターチェンジ・進入道路が盛り土の形態になることである。一帯は三方が道路や丘によって窪地状の地形となっており、盛り土の道路ができれば四方がふさがり、窮屈感・圧迫感は避けられない。快適な生活空間の形成とは相いれない。高架方式による自動車道への連結を、説明会の後に自治会役員と県の現場事務所に申し入れた。年明けには再度地域住民への説明会を開催し具体的なプランを提示したいとの事であった。</p> <p>(1) 連結はどのような形態となるのか。説明会はいつごろ開催されるのか。</p> <p>(2) 町の都市整備課も同区域への新たな町道のルートを提示するとの事であったが、説明会はいつになるのか。</p>	町長

質 問 者	宮 里 芳 男 議 員	質問の相手
1 施政方針について	<p>(1) 学校教育の充実 ア. 町教育委員会と沖縄キリスト教学院大学との地域連携事業に関する協定を継続し、教育活動の充実を取組むとありますが、平成 25 年度の連携活動と平成 26 年度に予定されている活動を伺います。</p> <p>イ. 依然として学校給食費の滞納繰越額が増えている。悪質な滞納者については町債権管理条例に基づき法的措置等を取ることを検討しているとの事ですが、</p> <p>(ア)平成 24 年度、25 年度法的措置等を実施した件数を伺います。</p> <p>(イ)平成 25 年度の現時点での滞納額を伺います。</p> <p>(2) 文化事業の推進について ア. 平成 26 年度尚円王生誕 600 周年に向けて、記念事業検討会議を設置し、取組むとの事ですが、</p> <p>(ア)記念事業検討会議はいつごろ設置されるのか伺います。</p> <p>(イ)取組み状況を伺います。</p> <p>(3) 児童・母子(父子)福祉の推進について ア. 乳幼児の保育園への受け入れおよび慢性的な待機児童の解消に努める、又、今年度はさわふじ保育園の新築、移転により 3 歳未満児の入所定員の拡大となっていますが、</p> <p>(ア)25 年度現時点の待機児童数を伺います。</p> <p>(イ)26 年度 4 月からの待機児童数を伺います。</p> <p>(4) 農業振興について ア. 農水産物流通・加工・観光拠点整備事業について、設置場所や規模の検討を進めるとありますが、進捗状況を伺います。</p> <p>(5) 坂田小学校校舎危険物新築増改築を行う事で設計業務委託料が計上されていますが、平成 26 年度、平成 27 年度、平成 28 年度の事業予定について伺います。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

2 検討事項	<p>(1) 自治会事務所建設助成等に一括交付金の活用を12月定例議会で、「台団地自治会事務所がコミュニティ助成事業を活用できなくなった件を取り上げ、沖縄振興特別推進交付金いわゆる一括交付金を活用して自治会事務所建設の助成等を行えないか」、質問を行った。その後の検討状況は。</p> <p>(2) 小波津区内の農道整備 12月定例議会で、小波津区から東部消防署西原出張所を結ぶ町道内にある養鶏場から県道155号線へ抜ける農道の整備を求める質問を行った。建設部長からは「整備の必要性があり、予算計上を検討」との答弁を受けた。進捗状況は。</p>	町 長
--------	---	-----

質 問 者	大 城 清 松 議 員	質問の相手
--------------	--------------------	--------------

1 子育て支援について	(1) 施政方針の中で、子ども・子育て支援計画を策定とのことだが、平成26年度に新たに考える、支援方策について問う。	町 長
2 坂田小学校過密化について	(1) 校舎建て替えの進捗状況について問う。	教育委員長
3 下水道事業について	(1) 下水道事業が西原町全域で平成45年度に完成とのことだが、坂田高層住宅は何年頃になるのか問う。	町 長
4 新高速フルインターについて	(1) 幸地に出来る高速フルインターの進捗状況について問う。	町 長

質 問 者	宮 城 秀 功 議 員	質問の相手
--------------	--------------------	--------------

1 農水産物流通・加工・観光拠点整備事業について	(1) この事業は、一括交付金であるが、去年も提起され、今年も十分な議論を重ねるとしてはいますが、2年も要して策定できない理由は何なのか伺いたい。	町 長
2 株式会社農業生産法人西原ファームについて	(1) 耕作放棄地が再生される事は良いと思うが、今年も職員が増えて、去年は10万坪の再生を目標としていたが、再生された土地の番地と現況の詳細を伺う。又、桃原の資材置場の現況はどうなっていますか。	町 長

5 行財政改革	<p>てお伺いします。</p> <p>ア. 学校等での自助の教育</p> <p>イ. 行政区等での自主防災組織の促進策</p> <p>(1) 大切な税金を無駄むらがないか検証することが重要だと思います。民間におきましては、スクラップアンドビルドは常識であり、行政においても事業の統廃合は必要だと思いますが、ご見解をお伺いします。</p>	町 長
6 教育問題	<p>(1) 全国的に学力低下が叫ばれております。特に沖縄県の学力は全国最下位にあり、学力向上に取り組む必要があると思いますが、以下のことについてお伺いします。</p> <p>ア. 家庭の指導</p> <p>イ. 地域の指導</p> <p>ウ. 学校の指導</p> <p>(2) 全国学力テストの結果公表が議論されていますが、西原町においてはどのように考えているか、ご見解をお伺いします。</p>	教育委員長

質 問 者	仲 松 勤 議 員	質問の相手
-------	-----------	-------

1 執行体制等 行財政の確立 について	<p>(1) 施政方針の中で基本的な行政運営を「西原町行政改革大綱」を踏まえるとの事だが、大綱はいつ作成され、その期間、又、新たな大綱の検討はあるのか。又、特に内容の基本的な考え方は何か。</p> <p>(2) 「役場は、地域の最大のサービス産業、町民は最大の顧客であるとの認識」との見解を伺いたい。</p> <p>(3) 職員の人材育成・資質の向上にどのような計画実行がありますか。</p> <p>(4) 本庁舎の建築から46年が経過し、老朽化や狭隘化等のため新庁舎建築の運びとなった、新たなまちづくりの拠点となったわけですが、とれない課題もあると考えるがどのような事からか、又、運用が求められるか。</p> <p>(5) 自主財源の確保、向上に向けどのような課題と計画がありますか。</p> <p>(6) 土地用途の変更利用で、より利便性の活用と財源の拡充につながると考えるが、どのような状況ですか。</p> <p>(7) 町有地の分譲処分計画はどのような様になってますか。</p>	町 長
---------------------------	---	-----

<p>2 文化・教育行政の充実をめざして</p>	<p>(1) 内閣御殿の復元計画を年次ごとに伺いたい。</p> <p>(2) その将来像はどの様にえがいていますか。</p> <p>(3) 「就学援助制度」とはどのようなものか。 ア. 現状での受給者の人数・受給率は。 イ. 支給を受けるべき潜在的な児童生徒が多いと思うが、取り組みの強化策はありますか。</p> <p>(4) 「学力の低下は、保護者の責任によるところが大きい」と言及した講演が2月にあったが、教育委員会も同感ですか。どの様な見解ですか。</p> <p>(5) 一層の学力向上に向けて「学びをつなぎ高める新三学期制導入」が他市町村で増えています。二学期制との比較、課題を伺いたい。</p> <p>(6) 学校現場での事故報道について</p>	<p>教育委員長</p>
<p>3 「子どもの医療費に入院に続き、通院も中学校卒業まで無料に」</p>	<p>(1) 子どもの通院無料化、中学卒業まで実施している県内自治体また予定している所も含めてどのくらいありますか。</p> <p>(2) 県に補助要請する考えはありますか。 又、県が実施するまで独自で行う考えはありませんか。</p> <p>(3) 窓口無料化の実施を求めたいが。課題は何ですか。</p>	<p>町 長</p>
<p>4 保育行政について</p>	<p>(1) 平成26年度での待機児童はどの様になっていますか。</p> <p>(2) 解消策はどの様な計画ですか。</p> <p>(3) 保育士「処遇改善臨時特例事業」とはどの様な政策か。 又、支給状況、予算、人数は。又その効果は期待されますか。</p> <p>(4) 政府は2015年から「子育て支援制度」でパートタイムや求職中の父母でも、認可保育園への利用ができる、大幅な緩和の環境整備を図るとの事。利用対象が増える予想がされます。その対応等の見解を伺いたい。</p>	<p>町 長</p>
<p>5 4月の消費税増税に伴う対策について</p>	<p>(1) 低所得者向けの「臨時福祉給付金」さらに子育て世帯向けへの「臨時特例給付金」についての世帯数・人数・予算を伺いたい。又、給付条件はどの様な事か。</p>	<p>町 長</p>

2 尚円王生誕 600周年記念事 業について	(1) 検討会議が設置される予算が計上されているが、その 予定表等はあるのか。	町	長
3 学校支援地 域本部事業に ついて	(1) 次年度は何校で実施される予定か。又、県からの補助 金は継続されることになったのか。 コーディネーターの確保、地域等の支援体制は順調なの か。	町	長
4 町民交流セ ンターの設置 について	新しい町の複合施設も完成間近で、今議会にその設置及 び管理に関する条例も上程され、特に町民ホールは「さわ ふじ未来ホール」と言う町に相応しい適切な名称が付けら れ、これから町民にとっての文化・芸術など様々な活動、 交流拠点として大いに期待される。 そこで以下のことをお聞きする。 (1) 窓口管理、舞台関係の委託先はどうなっているのか。 (2) こけらおとし公演は西原町文化協会と協働型事業の協 定書を交わして、初の形式で実施するとのことだが、そ の意義、効果等はどう考えるのか。	町	長
質 問 者		有 田 力 議 員	
		質問の相手	
1 平成 26 年度 施政方針につ いて	(1) 執行体制と行財政の確立の中で、町税催告業務を委託 するとしている。委託内容について伺う。 (2) 執行体制と行財政の確立の中で、国・県からの事務の 権限移譲への対応を強化するとしている。具体的な対応 内容について伺う。 (3) 執行体制と行財政の確立の中で、歳出削減のための事 務事業の総点検を実施するとしている。具体的な実施内 容について伺う。 (4) 平和で人間性豊かなまちづくりの中のスポーツ・レク リレーション活動の推進項目でプロサッカーチーム等の 誘致を図るとしている。具体的な誘致取り組みについて 伺う。 (5) 安全で環境にやさしいまちづくりの中の環境保全対策 の推進項目で「町生活環境保全条例」に基づき、生活環 境の保全等に関する施策を推進するとしている。具体的 な施策の内容について伺う。	町	長

	<p>(6) 健康と福祉のまちづくりの中の児童・母子（父子）福祉の推進項目で与那原町、中城村と連携しての三町村広域のファミリーサポートセンター事業のさらなる充実に努めるとしている。具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>(7) 豊かで活力のあるまちづくりの中の商工業の振興の推進項目で沖縄県が検討している大型MICE施設のマリンタウン地区への積極的な誘致に努めるとしている。具体的な誘致取り組みについて伺う。</p> <p>(8) 豊かで活力のあるまちづくりの中の都市基盤施設の整備の推進項目で西原町景観計画策定に取り組むとしている。具体的な取り組み内容について伺う。</p>	町 長
2 町行政について	<p>(1) 定年退職職員の再任用にかかる考え方を伺う。併せて、今後5年間の各年度毎で何名の職員が定年退職を迎えると試算されるのか。</p> <p>(2) 平成25年3月29日付の総務副大臣名の通知文と平成25年4月5日付の沖縄県知事名の通知文書～「地方公務員の雇用と年金の接続について」の文書で～「能力・実績に基づく人事管理を推進しつつ、地方の実績に応じて必要な措置を講ずるよう」の旨の記述があります。町長はどのように理解し対応されるのか。</p> <p>(3) 公務員給与削減に応じなかった市町村に対し、公共事業関連の補助金を減額すると、政府は方針を固めた旨の報道がありました。その内容はどのようなものですか。それと併せて町長の見解と対応について伺う。</p> <p>(4) 内間小橋川線と小橋川、上原線が交差する地点は見通しが悪く変形三叉路となっている。住民の安全確保と交通事故防止のため、街灯等（カーブミラー含む。）の設置が必要だと考えるが。</p> <p>(5) 小橋川4号線沿い小橋川171-5番地前の道路への一時停止線線引きにかかる浦添署との協議結果について伺う。</p>	町 長
3 福祉行政について	<p>(1) 広報にしはら2月号で、民生委員、児童委員47名が平成28年11月30日迄を任期として委嘱され紹介されておりました。同委員不在の行政区もあり地域住民との連携が懸念されます。定員不足を今後、どのように補充対応するのか伺う。</p>	町 長

質 問 者	大 城 誠 一 議 員	質問の相手
1 農業振興について	<p>本町の農業振興にあたっては、遊休農地の解消及び担い手の育成確保が重要である。現在、町耕作放棄地解消対策協議会及び農業委員会並びに関係機関連携の下、農業生産法人西原ファームにおいて、耕作放棄地が徐々に再生され農産物の生産に活用されている。引き続き耕作放棄地再生に向けて取り組む。また、国の食と農林漁業の再生のための基本方針に基づき、人・農地プランを充実させ、新規就農者の育成に努めるとある。</p> <p>(1) 本年度青年就農給付金事業として 10,500 千円計上されているがどのような事業か。</p> <p>(2) 昨年度は、該事業を活用して就農した者の経営規模並びに作目等について</p> <p>(3) 一般農業者が耕作放棄地解消対策事業を活用して農地を再生した実績はあるか。</p> <p>(4) 農業生産法人ファームの構想の中に団塊の世代を対象に再生地を再分配して農業に従事してもらう取り組みがあったがその実績は。</p>	町 長
2 教育行政について	<p>(1) 二学期制について</p> <p>本町では、該制度を平成 19 年度に導入して、7 年目となる。次の件について説明を求めたい。</p> <p>ア. 二学期制のメリットとデメリットについて</p> <p>イ. 導入時の該メリットは教育現場において確保されているか。</p> <p>ウ. またデメリットについては、改善策を確認して、その方針を策定していたとあるが、教育現場において方針に基づいて改善されデメリットは解消されているのか。</p> <p>(2) いじめ、不登校問題について</p> <p>本件の解消については、教育相談員による充実強化を図るとともにスクールカウンセラーを活用し学校支援に努めるとあり、本年度は、教育相談員を 1 名増員して 4 名体制で事業を進める計画となっているが具体的な取り組みについて伺う。</p>	教育委員長

3 児童福祉について	(2) 町としての取り組みについて伺う。 (3) 3月3日に沖縄北西沖で震度4の地震が発生したが、新庁舎の免震装置はどのような反応を示したか。	町 長
4 名誉町民について	(1) 施政方針で、子育てと就労の両立支援策として保育に欠ける乳幼児の保育園への受け入れ及び慢性的な待機児童の解消に努めますと述べているが、今年、4月に認可園に入園できなかった乳幼児は何名か。	教育委員長
5 社会保障について	年金・生活保護費が減らされている。 (1) 町内の年金受給者はおよそ何名か。 (2) 町内における年金の受給総額はおよそいくらか。 (3) 町内の生活保護受給者の過去5年間の推移について (4) 町内の貧困問題について琉大・沖大等の研究者と連携して、調査する考えはないか。	町 長
6 生活環境の整備について	(1) 住宅リフォーム制度創設を提案します。 (2) 琉球銀行西原支店裏の小那覇195番地から小那覇200番地までの生活道路の側溝の蓋が不安定で車が通るとガタンゴトンと騒音を発する。地域住民と連携して改善策をとる考えはないか。 (3) 坂田高層住宅への進入路は照明装置が貧弱である。照明の強化策をとる考えはないか。	町 長
質 問 者	伊 波 時 男 議 員	質問の相手
1 町財政について	平成26年度施策方針で町長は町税の自主財源の確保は最重要課題であるとの事ですが、下記の件について取り組みをお聞きします。	町 長

	(5) 「健康と福祉のまちづくり」の中で人間ドックの充実と保育入所定員の弾力化について		
2 土地利用について	(1) 住宅地の拡大が今の西原町には必要と思うが、今後の方向性を聞きたい。	町	長
3 自主財源の拡充	(1) 自主財源は平成 25 年度の当初予算に比較して確かに大きく増えたが今後もその対策は強化することが大事だ。	町	長
4 町政について	(1) 西原町の新庁舎が完成しつつあり、多くの町民が今後のまちづくりに期待していると思うが、町のシンボルとしての庁舎に玄関あたりに高いポールを設けて西原町の町旗を掲げてはどうか。また、この際、西原町の議場にも議長席の後ろあたり、つまり中央に町旗を掲げることに、庁舎の管理責任者である町長はどのような考えを持っているかお聞きしたい。(もちろん議場については、議会で話し合うことが必要とは思いますが...)	町	長
5 教育行政について	(1) 学校教育の充実の立場から教育支援員の増員について、小学校及び中学校別々に説明願いたい。 (2) 外国人英語指導助手及び小学校英語活動指導員の配置について。今、教育委員会で計画している内容を求める。 (3) 町立小中学校における生徒の事故の対応及びその処理について。また、今回の琉球新報で報じられている事故の内容について質問する。	教育委員	長
質 問 者		長 浜 ひろみ 議 員	
質 問 の 相 手			
1 高齢者福祉について	(1) 独居老人の安否確認に乳酸菌飲料の配付について	町	長
2 子どもを守る施策について	(1) 社会問題化する所在不明の子どもたちについて、本町での調査実施は。 (2) 事件から子どもたちを守るためのSNSの保護者講習会の開催について。	町	長
3 水道料金について	(1) 消費税のアップに伴い水道料金は内税方式(アップ分を値下げする)にするべきではないか。	町	長

